

子どもたちの学力向上に向けて、家庭での基本的な生活習慣の確立や家庭学習の定着をめざし、大切な情報を発信します。



テーマ 「自主学習のすすめ」



◆どうして、自主学習が大切なのでしょう？

社会の変化により、スマートフォンやゲーム等を使用する時間が増え、新聞や本を読む時間は減っています。この状況はICT機器の扱いに慣れるという良い面もありますが、小学校の発達段階では、本を読むことや字を書くこと、計算をすることなど自分の頭と手を使って自分の学び方を創造していくことも大切です。皆様のご家庭では、学校の宿題には取り組んでいるが、「自分から学習を繰り返したり深めたりはしない」ということはないでしょうか。

そこで、『**自主学習**』に注目です。 ※自主学習とは、読書や手紙、日記、予習や復習、宿題以外の学習等の取組です。

学力向上のための基本調査2008（ベネッセ教育総合研究所）によると、「テレビやラジオをつけないで集中して学習を行っている」、「宿題を期日までにやり遂げる」、「得意分野をさらに伸ばすために自主的な学習を行っている」など、基本的な生活習慣や学習習慣が達成できている子どもほど、学力が高いというデータが出ています。

では、具体的にどのように学習に取り組めばよいのでしょうか。全国で自主学習に取り組んでいる子どもの割合、メリット、学習内容等についてご紹介いたします!!

◆自主学習の習慣をつけましょう!



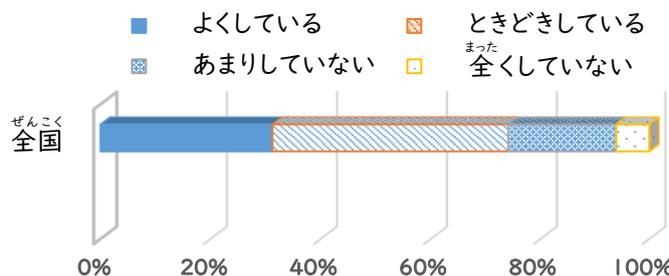
自主学習に取り組む際の参考資料として、令和3年度 全国学力・学習状況調査の調査結果資料より、質問項目「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）」における結果のご紹介です。

家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	全国
よくしている	31.2%
ときどきしている	42.8%
あまりしていない	19.8%
全くしていない	6.1%

「よくしている」「ときどきしている」を合わせると...

全国で **74%** の子どもが **自主学習** に取り組んでいます。

<家で自分で計画を立てて勉強をしていますか>



子どもが自分の学習と生活の実態を自覚して、目標を設定したり、進捗状況を記録したりして自身の学びを改善していくことが重要です!!



## ◆自主学習には、このようなメリットがあります!

### <勉強する習慣がつく>

毎日一定の時間、一定の分量をこなすことで習慣づけのトレーニングになります。

### <基礎学力のアップ>

計算問題、漢字練習をすることで、学力の基礎づくりになります。

### <創造性と自主性のアップ>

何をするのか自分で決めて取り組むことによって、自分で考え行動する力がつきます。

### <プレゼンテーション能力のアップ>

他者に見せる前提のノートづくりで、資料の活用、表現方法を工夫するトレーニングになります。

### <子どものコンディションの把握>

子どもの気分がどんな状態にあるのかがノートにあらわれます。心身のコンディションを把握するバロメーターになります。

### <コミュニケーションツール>

取組に対して保護者や先生、友達等からコメントを書いてもらうことで、「見てくれている」「気にかけてくれている」という安心感とやる気の向上につながります。

### <子どもの学習進行度の把握>

学校でどの単元まで進んでいるのかを把握するのに役立ちます。お子様の授業の進み具合や理解度の目安になります。



## ◆ご家庭での学習を楽しみましょう!

### <親子で読書を楽しみましょう>

- 読書は言葉で表現する力を高め、豊かな感性を育みます。

### <学習したことを活用しましょう>

- 「買い物のときに計算する」や「四角形や三角形などの形を見つける」、「いろいろな長さを測る」などの活動も効果的です。

### <日々の発見や感想を書きとめましょう>

- 親しい方へ手紙を書いたり、字数を決めて日記を書いたりすることも大切です。

### <予習復習や宿題以外の学習にも取り組みましょう>

- 声かけや励ましが、やる気につながります。

教員が学びの深め方を子どもたちに説明したり、保護者の皆様がお子様と共に、学び方を話し合ったりすることが大切です!

「がんばってるね!」  
「できそうだね!」

資料:保護者用リーフレット「いっしょにのぼそう! 子どもの学力」(大阪市教育委員会)

## ◆ご家庭の協力体制が大切です!



自主学習の効果を高めるためには、子どもの応援者である保護者の支援が欠かせません。保護者の皆様の一声が子どもたちをやる気にもさせますし、やる気を奪うこともあります。そのような自主学習を支える家庭学習の

「**すすめ方のポイント**」をご紹介します。

- ① 必要な道具をそろえておく。
- ② 学年に応じた目標時間の設定をする。
- ③ 静かな場所で、姿勢よく、集中する。
- ④ 日付や問題の番号を記し、見直ししやすいようにする。
- ⑤ 「めあて」を書く。
- ⑥ 復習と答え合わせをしっかりとする。間違いを必ず直す。
- ⑦ 終わったら「振り返り」をする。
- ⑧ 家族がチェックする。

「準備が大切!」

「よし!やろう!」

<学年×10分が目安>(低学年は+10分)

1年生=10~20分  
2年生=20~30分  
3年生=30分  
4年生=40分  
5年生=50分  
6年生=60分



このような「すすめ方のポイント」を少し意識するだけでも、子どもたちの学習へ向かうモチベーションに変化が表れます。保護者の皆様はサポーターとして、子どもが学習から逃げたくなったり、自信をなくしたりしたときに、アドバイスをしたり話し相手になったりして、心の支えになってあげてください。「勉強だけでできればよい」のではなく、深い愛情の下に必要な場面では厳しく接して、子どもの自立性や自主性を高めるようにしましょう。

「だいじょうぶだよ!」

